

法科大学院における特別措置の状況について

ふりがな 氏 名		生年月日	大 昭 平	正 和 成	年	月	日	性 別	
								男	女

在 学 期 間	平成 年 月 から 平成 年 月 まで (見込み)
------------	---------------------------

該当する項目をチェックし、必要事項を記入してください。

1 定期試験等における試験時間は、

- ☐ 健常者と同一の試験時間で実施している。
- ☐ 健常者の試験時間の約 () 倍で実施している。
延長倍率決定の理由・根拠等
[]

2 書字に要する時間は、

- ☐ ほぼ健常者と変わらない。
- ☐ 健常者の筆記時間に比し、約 () 倍程度長くかかる。
- ☐ そ の 他 ()

3 読みに要する時間は、

- ☐ ほぼ健常者と変わらない。
- ☐ 健常者の読字時間に比し、約 () 倍程度長くかかる。
- ☐ そ の 他 ()

4 定期試験等において、答案用紙に解答するに当たっては、

- ☐ 代筆によって解答している (☐ 音声出力による意思伝達装置を併用する。) 。
- 受験者と代筆者との関係 ()
- ☐ 特殊な機器等 (補助具、パソコン等) を使用している。
- 使用機器名 ()
- 補助具名等 ()
- ☐ そ の 他 ()

5 意思の疎通は、

- ☐ 会話により可能である。
- ☐ 筆談により可能である。
- ☐ そ の 他 ()

学内試験等の際に講じられている特別措置の内容を、できるだけ詳しく記入してください。

上記のとおり特別措置の状況等を報告する。

平成 年 月 日

法科大学院の名称及び所在地

記載責任者の職氏名及び連絡先

印

※ 本書は、法科大学院において記載してください。

※ 既に法科大学院の課程を修了している場合は、本人が作成してください（代筆可）。